

家庭裁判所調査官セミナーを終えて

平成28年12月1日(木)、京都家庭裁判所において、『家庭裁判所調査官セミナー』を開催しました。

普段、家庭裁判所調査官(以下「調査官」といいます。)と接したり、仕事に触れたりする機会はなかなかないのではないのでしょうか。そこで、調査官の仕事に対する具体的なイメージを持ったり、実際の職場の雰囲気を感じたりしていただけるような機会を設け、より多くの方に調査官の仕事を身近に感じていただきたいという思いから、このセミナーを企画しました。

当日は、学生から社会人まで、調査官の仕事について余り知らなかった方から受験準備を始めている方まで、沢山の方に御参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

1. ガイダンス, 班別座談

ガイダンスでは、若手の調査官と調査官補が、職務内容や、採用後の研修制度等についてお話をしました。「若手調査官から話を聞いて、採用後の研修についてイメージがわいた。」等の声をいただきました。

座談会では、3班に分かれ、調査官と調査官補が参加者からの質問に答えました。「温かい雰囲気で、安心して質問することができた。」「実際に働いている人の話をラフな感じで聞けてよかった。」等の感想をいただきました。



2. 庁舎見学

調査室や調停室、調査官が普段仕事をしている執務室などを見学していただきました。

また、少年審判廷とプレイルームでは、模擬審判、模擬調査を行い、職員によるロールプレイを見ていただきました。「ロールプレイが興味深かった。」「様々な部屋を見学させていただく中で、その部屋が実際にどのように使用されているのかについて具体的なイメージがわいた。」等の声を数多くいただきました。



模擬調査の様子
(プレイルームにて)

3. 個別質問コーナー

座談会で十分に話せなかったり、更に聞きたいことがあったりした方のために、調査官や調査官補が参加者の質問に個別に答える時間を設けました。仕事のやりがい、研修の内容、仕事をしていて大変な点等、様々な質問がありました。

自由参加でしたが、ほとんどの参加者が参加し、「話しやすい方ばかりで、自分の聞きたいことを遠慮なくぶつけることができた。」などの感想をいただき、大変好評でした。



4. 最後に

全体を通じて、「温かく優しい雰囲気で、のびのびとセミナーを受講でき、とても楽しかった。」「働いている方の熱心が伝わってきた。」といった感想や、「より自信をもって進路を選択できそうです。」「このセミナーを受け、調査官を目指してみようと思った。」という声もあり、皆さんの進路選択の一助となったことを、担当者一同大変うれしく思っております。来年度も、このような機会を設けたいと思っておりますので、その際はより多くの方に参加していただきたいと考えています。

